

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学研究データポリシー

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学（以下「本学」という。）は、建学の精神に基づき、社会の発展に貢献し得る教養ある女性職業人の育成を目指している。また、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究等の状況について、広く周知を図ることができる方法によって積極的に情報を開示するものとしている。

本学で行われる研究について、その成果を適切に管理・蓄積し将来への資源とするとともに、可能な限り利活用を図り社会へ還元していくことは、本学の発展はもとより、広く学問の発展や健全な未来社会の実現に貢献できると考える。

そこで、本学の研究データの管理、公開及び利活用に関するポリシーを以下のとおり定める。

（研究データの定義）

- 1 本ポリシーが対象とする研究データとは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集または生成された情報を指し、デジタル・非デジタルを問わない。

（研究データの管理）

- 2 本学は、原則として、研究データを収集又は生成した研究者がその研究データの管理を行う権利と責務を有していることを認め、研究者は、研究データの価値を守るため、それぞれの研究分野とデータの特質を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って研究データの管理を実施する。

（研究データの公開）

- 3 本学及び研究者は、各研究分野の特質を踏まえ、その法的及び倫理的要件に従って、可能な限り社会に研究データを公開し、その利活用を促進する。

（大学の役割）

- 4 本学は、研究データの管理、公開及び利活用を支援する環境を整備する。

（その他）

- 5 本ポリシーは、学術環境の変化に応じて、適宜見直しを行うものとする。